

研究協議・指導助言

研究協議

それぞれの授業者が自分の授業を振り返ったあと、参観者とともに今日の気づきを共有しました。

シンキングツールを使って
考えを整理しやすく工夫し
答えを導けた！

交流が活発で、意見の
キャッチボールができていた。

シンキングツールの使い方
の交流ができて、いい意見
が出て来ていた。

先生のポジティブな声
掛けで生徒が頑張れて
いた。

比較しながら考えたり、次の
行動を考えたりできたのが
よかった。

動画の撮りあいを行うこと
で、生徒同士の交流も増えて
いた。

話し合いを2回、3回と繰り返すことでより、考えが深まっていた。

インタビューなどの身近
な教材を取り入れること
で当事者意識がわく仕
掛けがあった。

ワークシートが考えを深める
手立てになっていた。
多面的→多角的

何度も繰り返すことで癖づ
ける工夫がされていた。でき
た！の経験が多い。

自分で気づいて、やってみて、
できたら勝手にうまくなって
いく。それがスポーツの楽し
さ。

教科の視点を意識した
授業づくりがどの授業
にもあった。

生徒を中心に置いた活発な意見交流となりました。
どのグループも生徒の活躍している場面の話が止まりません。

教科の学びをアウトプットする力 伝え合う力の育成 ～豊津西中学校の授業づくりから考える～

令和8年 6月11日(木)
吹田市立豊津西中学校

吹田市教育委員会 学校教育室
主幹・指導主事 川添 龍次

教師が楽しみながら学ぶ

- ① 2人1組のペア
- ② 右側の人はいしゃべらない！
- ③ 左側の人はい言葉だけで…！
- ④ 制限時間は2分

「観」の転換

授業観が変わる

ここから「変える！」というエネルギー

研修観の転換

先生がやっている学びの営みそのものが
子供の学びになっていく





子供が主語の授業とは？

合言葉は「ココカラ変える」教育は勝手に変わらない！

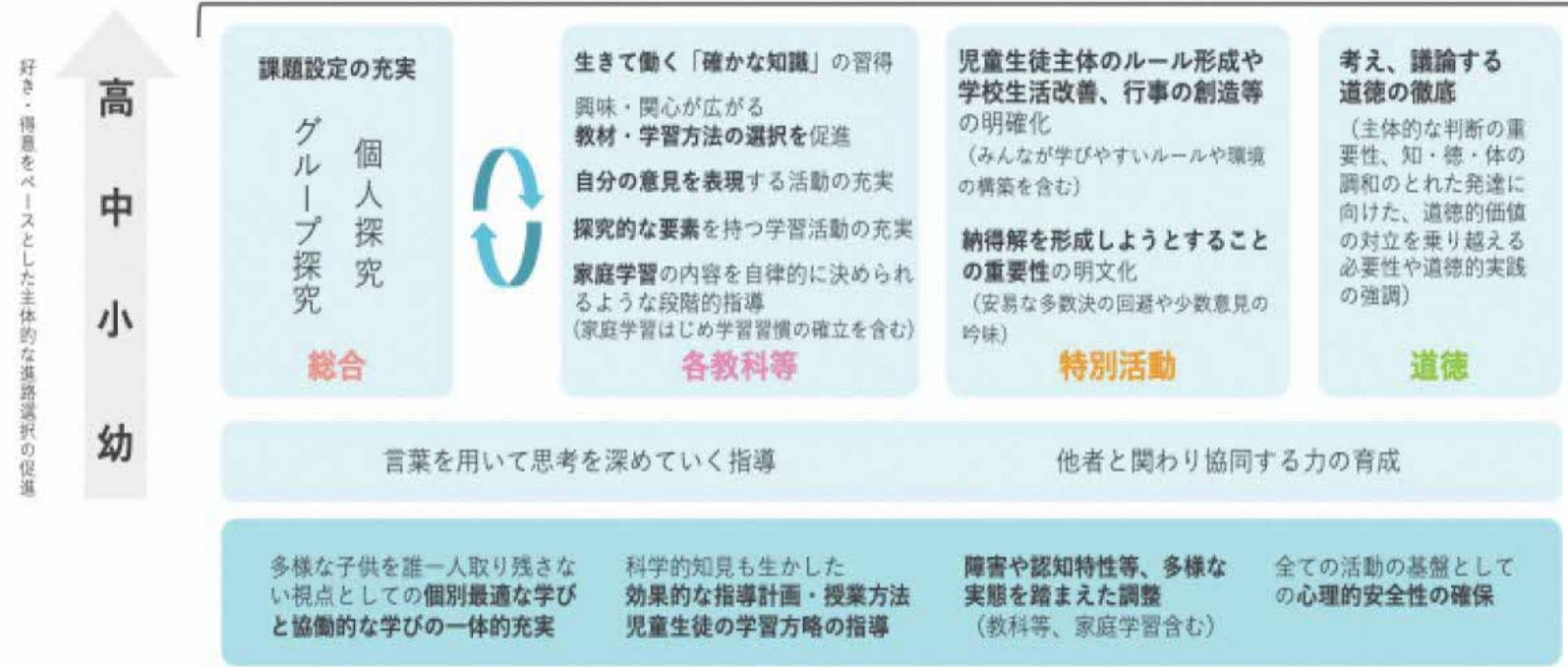
 自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成 

「好き」を育み、「得意」を伸ばす
(興味・関心)

×

当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる

【各教科等での検討イメージ】



学びをデザインする高度専門職としての教師
「裁量のな時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備
総合的な勤務環境整備

逆向き設計で
パフォーマンス課題
を設定した
授業づくり

「4枚カード問題」から考える

A

K

4

5

「母音の裏には、偶数の数字が書いてある」

「4枚カード問題」から考える

16
歳

25
歳

コ
ー
ラ

ビ
ー
ル

「お酒を飲むならば20歳以上」

確かな学びをはぐくむモデル校

市・学校の**課題**を
解決するために！
今年度の具体的な
ゴールの姿・挑戦は・・・？

市内小・中学校の授業研究から
抽出・分析した「キーワード」

「子供が主体的になる授業づくり」「深い学びのために…対話・協働・つなぐ・考えを表現」

令和8年度
期待する
子供の姿

知的好奇心を持ち
自ら問題を発見する姿

探究的な学び

問題解決に向けて
試行錯誤する姿

【吹田市の学力課題① 学習に関する意識・意欲】
(全国学力・学習状況調査、すくすくウォッチャー、チャレンジテスト等を分析)
「好き」「楽しい」「おもしろい」といった探究につながる知的好奇心を大切に、子供が自ら問いを持ち、主体的に学べるような授業・教育活動をつくること（教員の授業改善）

【吹田市の学力課題② 情報を関連づけて表現すること】
(全国学力・学習状況調査、すくすくウォッチャー、チャレンジテスト等を分析)
自ら課題発見・解決していく過程を経験する中で、図やグラフ、写真、思考ツール等の様々な情報を比較したり、関連づけたりしながら表現すること（子供の能力向上）

『子供を主語』にした単元づくりを意識する！

【ゴールの姿を意識した活動】

子供の有能さを信じて、めざす子供の姿と、学習活動（単元の達成すべき課題）を往還させながら、単元をつくる。

例：資質・能力 ⇄ 言語活動

【見方・考え方】

各教科の見方・考え方を働かせる課題設定が大切。好き、楽しい、おもしろいといった知的好奇心を引き出し、**見方・考え方**を意識した単元、学習活動（言語活動）をつくる。

【教科横断的視点】

教科を横断した言語活動、単元を提案する。

言語能力

国語 社会 数学 理科 音楽 美術
算数 生活 図画工作
保健 体育 技術 家庭 英語 道徳

各教科の授業・言語活動

例：言語活動の中で、伝える相手を意識して、**情報（写真・図・動画等）**を示し、関連づけた情報を、さらに書き加えながら、**説明・発表**する。

【探究的な学び】（各教科指導と総合的な学習の時間）

探究的な見方・考え方を働かせ、子供が自身の学びに対するオーナーシップを感じられるようにする。

探究的な学びに取り組む子は、**授業で学んだこと**を、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたり、考えをまとめたりできるといった傾向があるため、単に教員の話を聞くだけではなく、自分が見つけた課題を、周囲の人と協力して解決するような授業を構築する。

例：総合的な学習の時間での経験を、各教科の授業に活用
探究したいテーマ・課題 ⇄ **調査したり分析したりした内容**

【個別最適な学び】（自己調整力）

教員が評価するだけではなく、子供がめざすゴールの姿を意識して「評価する力」を身につける。

例：授業の振り返り

身につけたい力 ⇄ **単元・時間の振り返り**

【語彙の獲得】

言葉の概念を再構築する。（ただ覚える勉強は×）

言葉（新しい言語） ⇄ **エピソード・物語（図書館の活用）**

例：言葉の言い換えや2文を1文にする等、様々な学習をしたくなるような「しかけ」や「目的意識」をつくる。

子供に力をつけるためには、様々な場面での教育活動に
視野を広げて、学びをつなげよう！！

【特別支援教育】

授業の姿 ⇄ **個別的教育支援計画** ⇄ **特別的教育課程（なりたたい自分）** 個別の指導計画（自立活動）

【学習指導と生徒指導の一体化】

教科の目標と生徒指導のつながりを意識しながら指導することで、安心して学べる環境をつくる。

例：共感的な人間関係の育成

話合ってまとめた意見 ⇄ **互いの意見の良さ**

具体と抽象を『往還』させる場面を意図的につくる！

【思考・判断・表現をより意識した授業】

発問をアップデートする。1問1答ではなく、順序づける、比較する、分類する、関連づける、多面的・多角的に見る、理由づける、見通す（予想する）、具体化する、抽象化する、構造化するといった考えるための技法を意識させる授業を構築する。（以下、各教科の活動例）

国語：心に残った登場人物について、その**魅力**を**動画**にする。（TV番組やYouTubeのように）

社会：**平安時代**に生きる**貴族・平民**の立場だったら、当時の政治についてどう考えるか、多面的・多角的な視点で、思考ツールにまとめる。

算数・数学：式だけ数だけの授業ではなく、**図、表、グラフ**等と言語を使って往還させながら、指で示して、説明・発表する。

理科：植物に詳しくなるだけでなく、**条件制御**を学び、子供が自分で**発芽の実験計画**を立て、予想し、**目的に合わせた分析・考察**を行う。

生活：お家の人が**喜ぶこと**と、自分がやったことのある**お手伝い**について、順序立てて振り返る。

音楽：**鑑賞した曲**で気づいた工夫を**言葉**で伝え合い、その工夫を**自身の次の演奏**に活かす。

図画工作・美術：2つの**絵画**を比べて、**気づいたこと**を吹き出してセリフにして書く。

体育：自分が跳んだ**動画**と、他者（モデルとなる人や友達）の動きを比べ、構成要素ごとに**違い**を分類して、**改善点**を伝える。

家庭：季節にあった暮らしについて、**SDGs**に関連づけ、**自身ができる取組**を具体化する。

技術：**図面**や**説明文**を見て、プログラミング的思考で**試行錯誤**しながら、**製作物**を完成させる。

英語：吹田市の行ってほしい場所を、海外からの観光客に英語で伝えるために、**写真**や**地図**を使った**適切な表現**について推敲する。

【1人1台端末の活用】情報活用能力の抜本的向上を見据えて

子供が自ら問いを持ち、課題を発見し、解決していく過程を経験する中で、自らの思いを表現できるような、探究的な学びを推進する。

例：探究内容の写真を撮影してスライド作成

発表原稿 ⇄ **作成スライド** ⇄ **撮影した写真**

【学級経営】

教員が**目標**と**子供の姿**を往還させて、価値づけすることが大切。（自分事にする）

例：学級目標の活用（学年・学校目標）

学級のめあて ⇄ **具体的な子供の姿**

【デジタル・シティズンシップ教育】

社会とのつながりを大事にして、自分事として考えさせる中で、一度立ち止まって吟味できるような、批判的思考力を身につけさせる。

例：SNSの影響や責任について

社会生活 ⇄ **教室での学び**

【吹田市の学力課題① 学習に関する意識・意欲】（全国学力・学習状況調査、すくすくウォッチャー、チャレンジテスト等を分析）

「好き」「楽しい」「おもしろい」といった探究につながる知的好奇心を大切に、子供が自ら問いを持ち、主体的に学べるような授業・教育活動をつくること（教員の授業改善）

『子供を主語』にした単元づくりを意識する！

【ゴールの姿を意識した活動】

子供の有能さを信じて、めざす子供の姿と、学習活動（単元の達成すべき課題）を往還させながら、単元をつくる。

例：資質・能力 ⇄ 言語活動

【見方・考え方】

各教科の見方・考え方を働かせる課題設定が大切。好き、楽しい、おもしろいといった知的好奇心を引き出し、**見方・考え方**を意識した単元、学習活動（言語活動）をつくる。

【教科横断的視点】

教科を横断した言語活動、単元を提案する。

言語能力

国語	社会	数学	理科	音楽	美術
算数	生活		図画工作		
保健	体育	技術	家庭	英語	道徳

各教科の授業・言語活動

例：言語活動の中で、伝える相手を意識して、**情報**（写真・図・動画等）を示し、関連づけた情報を、さらに書き加えながら、**説明・発表**する。

【個別最適な学び】（自己調整力）

教員が評価するだけではなく、子供がめざすゴールの姿を意識して「評価する力」を身につける。

例：授業の振り返り

身につけたい力 ⇄ 単元・1時間の振り返り

【語彙の獲得】

言葉の概念を再構築する。（ただ覚える勉強は×）

言葉（新しい言葉）⇄ エピソード・物語（図書館の活用）

例：言葉の言い換えや2文を1文にする等、様々な学習をしたくなるような「しかけ」や「目的意識」をつくる。

問い

【吹田市の学力課題② 情報を関連づけて表現すること】（全国学力・学習状況調査、チャレンジテスト等分析）
自ら課題発見・解決していく過程を経験する中で、図やグラフ、写真、思考ツール等の様々な情報を比較したり、関連づけたりしながら表現すること（子供の能力向上）

具体と抽象を『往還』させる場面を意図的につくる！

【思考・判断・表現をより意識した授業】

楽しい、
意識

発問をアップデートする。1問1答ではなく、順序づける、比較する、分類する、関連づける、多面的・多角的に見る、理由づける、見通す（予想する）、具体化する、抽象化する、構造化するといった考えるための技法を意識させる授業を構築する。（以下、各教科の活動例）

案する。

美術
道徳

意識して、
つづけた情
表する。

国語：心に残った登場人物について、その魅力を動画にする。（TV番組やYouTubeのように）
社会：平安時代に生きる貴族、平民の立場だったら、当時の政治についてどう考えるか、多面的・多角的な視点で、思考ツールにまとめる。
算数・数学：式だけ数だけの授業ではなく、図、表、グラフ等と言語を使って往還させながら、指で示して、説明・発表する。
理科：植物に詳しくなるだけでなく、条件制御を学び、子供が自分で発芽の実験計画を立て、予想し、目的に合わせた分析・考察を行う。
生活：お家の人が喜ぶことと、自分がやったことのあるお手伝いについて、順序立てて振り返る。

音楽：鑑賞した曲で気づいた工夫を言葉で伝え合い、その工夫を自身の次の演奏に活かす。
図画工作・美術：2つの絵画を比べて、気づいたことを吹き出してセリフにして書く。
体育：自分が跳んだ動画と、他者（モデルとなる人や友達）の動きを比べ、構成要素ごとに違いを分類して、改善点を伝える。
家庭：季節にあった暮らしについて、SDGsに関連づけ、自身ができる取組を具体化する。
技術：図面や説明文を見て、プログラミング的思考で試行錯誤しながら、製作物を完成させる。
英語：吹田市の行ってほしい場所を、海外からの観光客に英語で伝えるために、写真や地図を使った適切な表現について推敲する。

り活用）
学習を
る。

【1人1台端末の活用】情報活用能力の抜本的向上を見据えて

子供が自ら問いを持ち、課題を発見し、解決していく過程を経験する中で、自らの思いを表現できるような、探究的な学びを推進する。

例：探究内容の写真を撮影してスライド作成

発表原稿 ⇄ 作成スライド ⇄ 撮影した写真



これからの授業づくりを考える！

未来社会を生きる子供達に必要な力



OpenAI



ChatGPT

注目されるメタバース
(仮想空間)



ソーシャル

バーチャル大阪

♡ 831



大阪府・大阪市





みんなの願いを乗せた 夢のクルマプロジェクト

の学習計画

学習活動

きっかけ

1 時間目

単元の学習計画を知ろう。
作り手の「思い」や「願い」を、作り手になりきって考えてみよう。

計画

2 時間目

作り手の「思い」や「願い」から、学習課題を立てよう。

探究

3 ～ 5 時間目

設定した課題の解決に向けて、探究活動を進めよう。

発表

6 時間目

探究してきた作り手の「思い」や「願い」を伝えよう。

まとめ

7 時間目

作り手の「思い」や「願い」をまとめよう。

制作

8 ～ 11 時間目

第18回トヨタ夢のクルマアートコンテストに参加

社
会

工
学

単元を通して考えること

自動車にこめられた人々の「思い」や「願い」とは何なのか？

	知識・理解	思考・判断・表現	主体的な態度
A	・ 作り手の「思い」や「願い」が日本の自動車工業を支えてきたことを理解している。 ・ 日本の自動車生産の工程や、世界とのかかわりについて理解している。	・ 作り手の「思い」や「願い」という心の中のことを、資料や写真などを使って見えるようにして発表している。	・ 学習を楽しんでいる。 ・ 自分と違う考えを面白がりながら、自分の学びに生かそうとしている。
B	・ 作り手の「思い」や「願い」が分かる。 ・ 日本の自動車生産の工程を理解している。	・ 作り手の「思い」や「願い」を、資料や写真などを使って発表している。	・ 学習を楽しんでいる。 ・ 自分と違う考えを面白がっている。
C	・ 日本の自動車生産の工程を理解している。	・ 作り手の「思い」や「願い」を、自分なりに発表している。	・ 学習を楽しんでいる。

■ 自分で課題を立てられるようにするための指導の工夫(小学校) 総合的な学習の時間 分科会

体験活動を通して 実践例 二つの祭りの参加体験を通した課題の設定 祭りAは、海外からも、たくさんの方が参加している。 祭りBは地元の人ばかりが参加している。 A市の2つの祭りの参加者に違いがあるのはどうしてだろう	写真資料を比較して 実践例 提示した二つの写真資料からの課題の設定 A 河川の上流 普通公園 1丁目の自転車置き場 B 河川の下流 バリアフリーの公園 2丁目の放置自転車 下流のごみはどのような種類のごみが、どのくらいあるのだろう	リハーサルを通して 実践例 地域行事への出店に向けたシミュレーションからの課題の設定 スムーズにできそう。 時間がかったな。 時間をかけずにするために、どのようなことを改善すればよいのだろう	グラフ資料の推移を予想して 実践例 提示したグラフからの課題の設定 〇〇山の年間登山客数の推移のグラフ 登山客が大きく変化した原因は何だろう	ブレインストーミングを使って 実践例 自分の住んでいるまちについてのブレインストーミングを通した課題の設定 「〇〇市は観光客が多いらしい。」 「外国人にも人気らしいよ。」 「でも、なぜ人気なんだろうね。」 「何かそれ分かるデータはないかな。」 「〇〇市に詳しい関係者に聞いたら分かると思うよ。」 「自分のまちなのに知らないことが多いわ。」 自分が住んでいるB市が観光客に人気の理由を調べよう
KJ法的な手法を使って 実践例 付せん(カード)を基にした話し合いからの課題の設定 〇〇祭りの良いところと問題点を明らかにしよう	対象への憧れから 実践例 地域の伝統行事を対象とした課題の設定 1 地域の伝統芸能や行事を知る。 2 体験したり参加したりする。 3 携わる人の思いや願い、現状などを聞く。 4 よさや価値、現在の状況等から課題を見いだす。 地域の一員として、この行事を活気づけたい	問題を序列化して 実践例 序列化を取り入れた課題の設定 1 カードやフリップに問題(課題の候補)を取り出す。 2 序列化するための視点を決める。 3 視点に沿って序列化する。 「園児との交流で困っていることは何かな。」 「解決する優先順位を考えよう。」 「笑顔にするための取組はすぐにできると思う。」 園児をもっと笑顔にするために交流の内容を見直そう	ウェビングでイメージを広げて 実践例 中心テーマからイメージを広げての課題の設定 1 中心テーマを決める。 2 ウェビングで自分の中のイメージを広げる。 3 整理したウェビング図を分析する。(例)・整理するキーワード・類似内容が揃って関係も整理できると思う 4 共通の項に比較しながら課題を導き出す。 給食はどんなことを考えて作られているのかな	(小学校編) 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 未来社会を取り組むための教育・能力の育成に向けた学習の展開とカリキュラム・マネジメントの発展 令和3年3月 文部科学省 CAPS KANA

■ 自分で課題を立てられるようにするための指導の工夫(中学校) 総合的な学習の時間 分科会

体験活動を通して	写真資料を比較して	シミュレーションを通して	グラフ資料を読み解いて	ブレインストーミングを使って
実践例 ○○川の水質調査活動  上流はバックテストの敷地がよい。植物や魚の種類が多く、指標生物から見ても水質のよさが明らかだ。 なぜ、同じ川なのに水質が悪化しているのだろう	実践例 対比する二つの写真資料の提示 A 例川の上流 遊歩道の公園 過去の○○市 B 例川の下流 パリアフリーの公園 現在の○○市  なぜ、昔はあった歩道橋が無くなってしまったのだろう	実践例 地域をPRする活動に向けたシミュレーションからの課題の設定  遠くから見えるようにプロジェクターで投影しようよ。 地域をPRするポスターをめだつようにする方法を考えよう	実践例 提示したグラフからの課題の設定 例 気温と商品の売り上げ量の調査  なぜ、気温が変わると、売り上げが変わるのだろう	実践例 自分の住んでいる○○市についてのブレインストーミングを通した課題の設定 「○○市は外国人留学生の数が多いいよ。」 「○○大学ができたからかな。」 「でも、昔から外国人住民の数は多かったみたい。」 「外国とのつながりが深いのかな。」 「何かそれかわかる資料やデータはないかな。」 「○○市に詳しい関係者に聞いたら分かると思うよ。」 自分が住んでいるC市が外国と関わりが深い理由を調べよう
KJ法的な手法を使って	対象への憧れから	問題を序列化して	ウェビングでイメージを広げて	(中学校編) 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 ※本社会をとり組む様々な機関、個人の育成に向けた、協力的な学習の支援と学びの場。マシメントの活用 令和4年3月 文部科学省
実践例 付せん(カード)を基にした話し合いからの課題の設定  地域の危険個所の安全対策について考えよう	実践例 地域を支える産業を対象とした課題の設定  1 地域を支える産業について知る。 2 実際に仕事を体験したり参加したりする。 3 働く人の思いや願い、現状などを聞く。 4 よさや価値、現在の状況等から課題を見いだす。 私たちが大人になったときに、何のために働くべきか、考えよう	実践例 中心テーマからイメージを広げた課題の設定 1 中心テーマを決める。 2 ウェビングで自分の中のイメージを広げる。 3 完成したウェビング図を分析する。(印・関連するキーワードを線・同じ内容を線で囲む・最も重要だと思うところに) 4 関連の図と比較しながら課題を明らかにしていく。  バスの本数をどのようにして増やすことができるのだろう	実践例 序列化を取り入れた課題の設定 1 カードやフリップに問題(課題の候補)を取り出す。 2 序列化するための視点を決める。 3 視点に沿って序列化する。 「○○海岸をPRするためには何をしたらいいだろう。」 「利用者の視点で優先順位を考えよう。」 「ゴミが多くあるのは問題だと思う。」 「PRするにも、ゴミが多かったら難しいな。」 「利用者のために掃除をする取組は、私たちでもできそう。」 ○○海岸を有名にするために清掃の内容を見直そう	



電車に乗っている人たちは
集団と呼べるのか・・・？



授業研究の視点

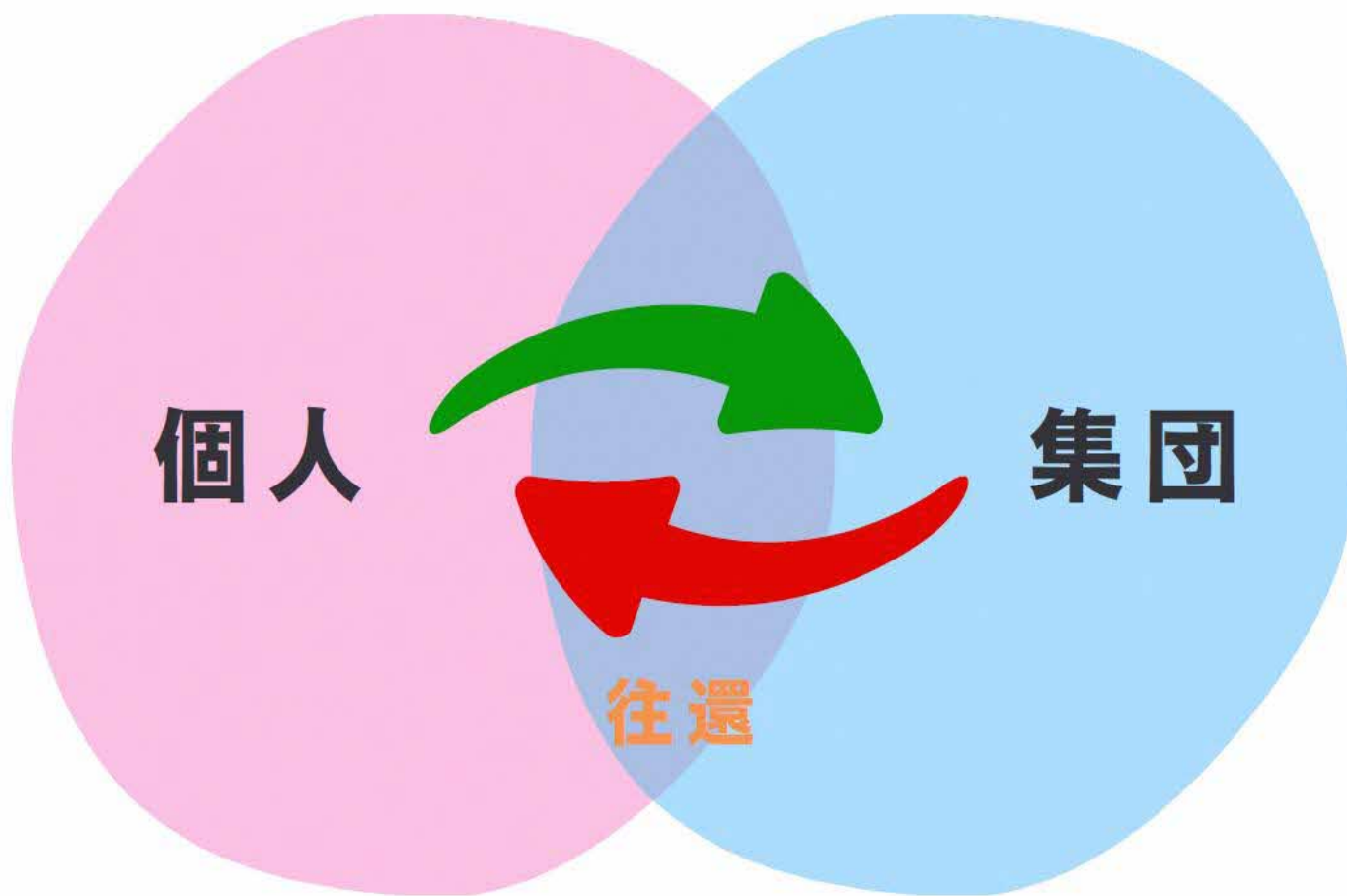
01

教職員が**目標**に向かって一致団結しているとき…
授業研究は「おもしろい」ものになる。

02

1人ひとりが、挑戦できているとき…
授業研究は「主体的」なものになる。

| 目標設定

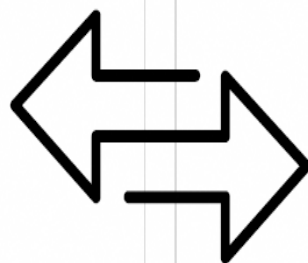


校内研修はチャンス！

自身の資質向上



学校の「チカラ」になる



関連付ける思考が求められる！！

…これって、授業と同じでは??

本日の研修で得た「知」から

生徒がこれから
求められる力を
自身の教科でイメージ